

# 水稻育苗 「アクアミネラル」 散布テスト報告

試験場所：福岡県久留米市／試験報告：樽見 伸介

## ■5月31日（水）育苗での施用テスト開始

今回のテスト面積は10a(1反)で設定しています。品種は「夢つくし」。播種後6日経過し、出芽して緑化期に入りました。育苗箱20箱(今回テストの1反分)に500倍に希釈した「アクアミネラル」を散布。育苗箱1箱あたり希釈液500ml(原粉1g)で試算し、20箱で希釈液10L(原粉20g)を与えました。

「アクアミネラル」の育苗時の散布のねらいは、①ケイ酸の補給、②耐病性向上、③受光性向上(葉立ち)を目的としています。徒長しない蓄積型の健苗になるよう効果を期待しています。



「アクアミネラル」原粉10gを5Lの水で希釈中



育苗箱20箱(1反分)に「アクアミネラル」500倍液を10L散布。

## ■6月15日（木）苗の比較（播種～20日 硬化期）

今年は育苗期間に降雨がなく、灌水からの蒸散が多いせいか、または養分の不足か育苗箱全体的に葉色が薄かった。テストの育苗箱20箱(1反分)にアクアミネラル500倍液を10L散布してから2週間経過後の苗の状況を確認。外観の茎の太さや葉色の違いは確認できませんでした。しかし、根の張り具合を確認するため苗を裏返すと、散布区の根量がとても多く、特に印象的だったのが根の色でした。散布区の根はとても白く健康的で、未使用区との違いは歴然でした。これには生産者さんも驚いておられました。



↑左：未使用区 右：アクアミネラル散布区  
茎の太さなどに違いは見受けられなかったが、横から見ても散布区の根は太く張りが力強い。



←左：未使用区 右：アクアミネラル散布区  
育苗箱から剥ぎ取り裏の根の状態を確認。散布区の根の張りが素晴らしい。また根がとても白く、未使用区との違いがすぐに見とれた。

## ■6月23日（金）苗の比較（播種～4週間 植付け）

根の状態は最初のアクアミネラル散布による活性(根の白さ)を維持しており、根の密度や細根の多さが確認できました。未使用区では若干徒長してるのか、茎が細く見受けられました。散布区は丈が低く茎が太く、蓄積型の苗に仕上がっているように感じました。



左側が未使用区、右側がテスト散布区。  
茎の太さに違いがみられた。未使用区は細く徒長したように苗丈が伸びていた。